

「皆さまの声」から実現した、松葉ひろみの実績

【出産・育児サポート】

子育て情報をひとまとめ！「まちだ子育てサイト」

「夜間に子どもの具合が悪くなったら？」「手当や給付の申し込みは？」「子育てに悩んだ時は？」

知りたい情報がバラバラに掲載されてて、分かりにくい！

———そんな「声」に応じて実現しました———

一目でわかる見やすいサイト。目的、年齢、施設から、知りたい情報にすぐアクセス。子育て中のお母さん、お父さんに大好評です。



詳細は
こちら



産後ケアの導入と充実

「出産後、自宅に戻っても家族の手伝いがなく不安」「授乳が上手くいかない」などの

悩みを抱えるお母さんのための産後ケア制度の導入を推進。助産師などのプロから医療機関・助産院でケアを受けられる宿泊型・日帰り型と、自宅でケアを受けられる訪問型で手厚く支援。利用期間の延長や利用日数の拡大など制度の充実も進めました。



【障がい者支援】

市からの郵送物に音声コード

視覚障がいのある方は、郵便物の中身がわかりません。点字が読める人は少ないため、スマホのアプリで読み込むことのできる音声コード（Uni-Voice）の活用を提案し、実現しました。

【高齢者支援】

一人暮らしの高齢者のため ICT 見守り事業

高齢者の孤独死が社会問題化。

いざという時の不安を払拭するために、通信機能を有したLED電球（ハローライト）を使用した高齢者見守り事業を形にしました。

自宅のトイレや洗面所など、毎日使用する場所の電球をハローライトに交換することで、24時間、電球の点灯や消灯の動きがない場合、登録した家族（友人も可）にメールでお知らせが届きます。

※現在、65歳以上の一人暮らしの方（所得制限なし）が対象者。

※市が12か月間の利用料金を負担します。



詳細は
こちら



「困ったお声」に寄り添う政策を、町田市で実現

【病後・病児支援】

がん患者へのアピアランスケア助成

がんの治療にともなう外見の変化に起因する悩みを軽減するためのアピアランスケア用品は高額です。**精神的負担、身体的負担、経済的負担を抱える当事者の社会復帰を支援するため、アピアランスケア用品購入費助成を訴え、実現しました。**

医療的ケア児の保育園受け入れを推進

あるお母さんの2歳の娘さんが「1型糖尿病」と診断されました。

生活習慣が原因の2型とは異なり、血液中の糖分をコントロールするインスリンが体内で分泌できなくなる原因不明の疾患です。幼い娘さんに代わり、お母さんが毎日インスリン注射を打ってあげる必要があったのです。

しかし、**母子家庭で働くお母さんが保育園に通い注射をすることは不可能。市に相談するも「医療的ケア児の受け入れは行っていない」との回答でした。**市内の保育園を回りましたが、どこも良い反応は得られませんでした。

松葉ひろみは党员を通じて、このお母さんの状況を聞き、即座に対応に動きました。

町田市・子ども生活部に直接働き掛けたほか、議会で「医療的ケア児の受け入れに向けて各保育園を支援してほしい」と提言。そして3ヶ月後、提案が実現し、主治医の協力なども得て、晴れて保育園に入園することができたのです。

この入園事例をもとに医療的ケア児の受け入れの促進が「市子ども発達支援計画（第一期障害児福祉計画）」に盛り込まれ、協議会が立ち上がり、安全な体制の構築に向けたガイドライン策定へと結実。

現在では公立保育園での入園枠が設けられるようになりました。



詳細は
こちら



【防災】

避難行動計画「マイ・タイムライン」作成の周知と啓発

防災士として、災害時の避難行動計画「マイ・タイムライン」作成の周知と啓発の取り組みを進めました。**女性視点の防災ブック「東京くらし防災」の配布も推進。災害時に身につけることで、支援を受けやすくする「災害時障がい者支援バンダナ」の配布も実現しました。**

耳で聴くハザードマップ

災害時に役立つハザードマップの情報は、視覚障がいのある方には届きません。

そこで**耳で聴くハザードマップの必要性**を訴え、導入を推進しました。

